

久しぶりに、青空が見えるスタートです。気持ちも高まりやすいです。

持続可能な社会において、持続可能な学校づくりは必須です。

教職研修1月号の特集1の中で、井澤友郭氏（こども国連環境会議推進協会事務局長）は『『持続可能な社会』づくりの現在地』と題し、持続可能な開発目標（SDGs）の切り口から、学びの方向性について語っておられます。

「持続可能な開発目標」をテーマにしたプログラムは、変容を目指すべきである。

この「変容」は、大きく分けて「行動変容」と「価値変容」の二つがある。

行動変容を促すためには、日常を振り返り、無意識に行動をしている選択基準の見える化、意識化するプロセスも入れて、価値変容（価値観・選択基準を変える）を促すことが大切。

価値観の再定義を誤らないようにしたいです。